

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング基礎実習 I			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 佐藤(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(ミル留めピアス)			
	内容 ミル留め技法を習得し、ピアスを制作 メーキング造形実習Ⅱ-2(オリジナルストーンリング)			
	内容 中石を使用したオリジナルリング制作 メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント)			
	内容 平打ち、甲丸リングの制作を通し、リングの基本的な制作プロセスを学ぶ メーキング基礎実習Ⅰ-4(ソリテールリング)			
	内容 オーバルカボションの石を使用した覆輪(フクリン)石座のソリテールリングを制作			
	内容 ラウンドCZを使用し4本爪留め石座のペンダントトップを制作			
	内容 ラウンドCZを使用し4本爪留め石座のペンダントトップを制作 メーキング基礎実習Ⅰ-7(制作技法演習)			
	ヒンジ金具の構造を学び、ロケットペンダントを制作する			
履修上の注意事項	基本的な工具の使用方法、用途を理解し、それぞれの課題毎に習得する基礎技法を身に付けたうえで進めていくことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング造形実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをし、オリジナルジュエリー制作の技法を習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	160時間	単位数	5単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 佐藤(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(ミル留めピアス)			
	内容 ミル留め技法を習得し、ピアスを制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-2(オリジナルストーンリング)			
	内容 中石を使用したオリジナルリング制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント)			
	内容 透かした銀板をカシメ技法にて重ね合わせたオーバーレイ技法と、既製のブローチ金具を用いた制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン基礎実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解を習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	160時間	単位数	5単位	到達目標 ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝小島（企業内デザイナー）			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(ミル留めピアス) 内容 dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 ミル留め技法を習得し、ピアスを制作 メーキング造形実習Ⅱ-2(オリジナルストーンリング)			
	デザイン基礎実習Ⅰ-2(製図の基礎) 内容 中石を使用したオリジナルリング制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント)			
	デザイン基礎実習Ⅰ-2(製図の基礎) 内容 dr6質感表現1/dr7平打ちリング作図			
	デザイン基礎実習Ⅰ-3(製図の基礎) 内容 dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造の理解			
	デザイン基礎実習Ⅰ-4(製図の基礎)			
	デザイン基礎実習Ⅰ-4(製図の基礎)			
	デザイン基礎実習Ⅰ-5(リング立体表現) 内容 dr1個石リングの表現/drメレーの立体表現/取り巻きリング			
履修上の注意事項	基礎的な描画技法の習得と適切な道具の使用が出来ていることが重要である			
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品量産の知識、加工方法の習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	288時間	単位数	9単位	到達目標 新たな加工法と知識の習得に基づき、着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 佐藤(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(量産仕上げリング)			
	内容 量産品の仕上げ方法の習得			
	メーキング基礎実習Ⅱ-2(石枠制作)			
	内容 マーキス、ペアシェイプ、エメラルド各石座の制作			
	メーキング基礎実習Ⅱ-3(腕加工)			
	内容 打ち延べ技法の習得			
	メーキング基礎実習Ⅱ-4(すり出し石座ペンダント)			
	内容 すり出し石座ペンダント制作			
	メーキング基礎実習Ⅱ-5(ストーンセッティングリング制作)			
内容 すり出し石座によるリング制作				
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留め出来る事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング造形実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを習得していく。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用した作品制作を習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	160時間	単位数	5単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 佐藤(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(ミル留めピアス)			
	内容 ミル留め技法を習得し、ピアスを制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-2(オリジナルストーンリング)			
	内容 中石を使用し、オリジナルリングを制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント)			
	内容 K18線を使用したワイヤーセッティングによる石座ペンダント制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく方法を習得していく。
担当教員	小島			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	160時間	単位数	5単位	到達目標 モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝小島（企業内デザイナー）			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1（スケッチトレーニング） 内容 模写 グラフィックソフト演習 ペンダントデザイン			
	デザイン造形実習Ⅱ-2（リフォームジュエリー） 内容 オーダーメイドジュリー、ロールプレイング グラフィックソフト演習			
	デザイン造形実習Ⅱ-3（ドローイングトレーニング） 内容 ドリル：ペンダントデザイン／ピアスデザイン ジュエリーアレンジ模写			
	デザイン造形実習Ⅱ-4（エンゲージリング） 内容 エンゲージリング カクテルストーンペンダント			
	デザイン造形実習Ⅱ-5（コンテストジュエリー） 内容 コンテストジュエリー グラフィックジュエリー			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。			
評価方法	1.課題作品：描写力・展開力 2.制作意欲：制作意欲：探究心・受講態度、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング基礎実習Ⅲ			授業のねらい 2年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品素材に多く使われるプラチナ使用した実践的な加工法や留め金具加工を習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	320時間	単位数	10単位	到達目標 新たな加工法と知識の習得、商品としての完成度で仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 佐藤(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(ミル留めピアス)			
	内容 ミル留め技法を習得し、ピアスを制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-2(オリジナルストーンリング)			
	内容 中石を使用したオリジナルリング制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント)			
	内容 留め金具の構造理解、製作			
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留め出来る事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける実際の商品としての装着感、重量バランスを習得していく。指定のテーマに基づき各自が作品、商品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用した作品制作を習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	128時間	単位数	4単位	到達目標
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
備考	実務経験有＝ 佐藤(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(ミル留めピアス)			
	内容	ミル留め技法を習得し、ピアスを制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-2(オリジナルストーンリング)			
	メーキング造形実習Ⅲ-2(WAX DESIGN RING)			
	中石を使用したオリジナルリング制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント)			
	メーキング造形実習Ⅲ-2(WAX DESIGN RING)			
	内容	結婚指環マーケットの新提案から男女ペアのリングを制作		
内容	商品傾向をリサーチし、新しいデザイン提案をする。3点セットでアイテムを制作する。			
内容	商品傾向をリサーチし、新しいデザイン提案をする。3点セットでアイテムを制作する。			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく。 また、市場動向や指定テーマに基づき、表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる技術を習得していく。
担当教員	佐藤			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	160時間	単位数	5単位	到達目標 モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成することを目指す。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝小島（企業内デザイナー）			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(ミル留めピアス) 内容 リフォームデザイン ミル留め技法を習得し、ピアスを制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-2(オリジナルストーンリング) デザイン造形実習Ⅲ-2(マリッジリング) 内容 中石を使用したオリジナルリング制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント) デザイン造形実習Ⅲ-2(マリッジリング) 内容 マリッジリングデザイン			
	内容 パールのペンダントトップ ターゲットイメージジュエリー			
	内容 コンテストジュエリー グラフィックジュエリー			
	内容 コンテストジュエリー グラフィックジュエリー			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			